

# 「生物試料分析」投稿規程

平成 24 年 10 月 13 日一部改訂

1. 本誌は生物試料分析に関して、医療や生命科学の発展に寄与する研究論文を掲載する。本誌に掲載される論文はすべての言語において未発表なものとする。臨床研究に関する論文はヘルシンキ宣言に沿ったものであることを明記する。動物実験については、実施施設の倫理指針に沿った研究であることを明記する。
2. 論文の著者は原則として生物試料分析学会の会員に限る。連絡者 (Corresponding Author) の自筆署名による同意書を添付する。なお、同意書の用紙はホームページ (<http://plaza.umin.ac.jp/j-jabs/editorial.html>) から入手できる。
3. 「生物試料分析」に掲載された記事の著作権は生物試料分析学会に帰属し、記事のすべてまたは一部を転載する場合は本会の許可を必要とする。
4. 論文の種類は原著(短報を含む)、総説、技術、資料とする。投稿に当たっては、この区分を明記する。ただし、総説の一般投稿は受け付けない。新知見を含んだ検査機器・試薬の検討論文は原著とする(論文表題に新知見の内容を含める)。
5. 論文は編集委員会の審査により採否を決定する。著者にその審査結果を通知する。投稿時に希望する査読者を、ホームページの編集委員から一名を指名する。  
(<http://plaza.umin.ac.jp/j-jabs/editorial.html>)
6. 論文を受け取った日を受領日 (Received) とし、審査の結果、掲載が可とされた日を受理日 (Accepted) とする。論文の掲載は原則として受理日順とする。特別の理由なく、審査後 2 ヶ月以上を要して返送されたとき、返送された原稿の日をもって新たな受領日とする。
7. 原稿は邦文とする。本文の構成は表紙、英文サマリー、キーワード(英文 5 単語以内)、緒言、方法と材料、結果、考察、(結語、謝辞)、文献、表・図の説明とする。頁番号を用紙の下中央に、表紙を頁番号 1 からつける。
8. 論文の体裁
  - (1) 表紙頁には論文の種類、表題、著者ならびに共著者名、所属機関名、所在地を記載する。英文を併記する。表題の見出しはイニシアルのみ大文字を使用する。連絡先の住所、電話、Fax、または、E-mail アドレスを記載する。

(2) 度量衡の単位は原則として SI 単位に従うこととする。

(3) 図表および写真には表題をアラビア数字 (Table 1, Fig. 1) で番号をつける。図表の説明文は英文とする。

(4) 引用文献は引用順に文中にアラビア数字 (右肩の括弧) で番号をつけ次の様に記載する。

雑誌:

例 1) 寺山文子、野山 恵: 微量化された自動分析装置のための血清カルシウム測定. 生物試料分析, 11: 9-13, 1988.

例 2) Stone JA and Soldin SJ: Improved liquid chromatographic immunoassay of digoxin in serum. Clin Chem, 34: 2547-2551, 1989. (なお、ibid は使わない)

単行本:

例 3) Edited by CA. Burtis and ER. Ashwood: FR. Elevitch: Computers in the Clinical Laboratory. Tietz Textbook of Clinical Chemistry, 2nd ed. 528-546, WS. Saunders Company, USA (1994)

例 4) 堀尾 武一編; 宮崎 香 他: ポリアクリルアミドゲルを用いる種々の電気泳動. 蛋白・酵素の基礎実験法 改訂 第 2 版, 325-418, 南江堂, 東京, 1994.

邦文:

例 5) Asanuma K, Ariga T, Aida N, Miyasaka A, Nagai Y, Miyagawa T, Minowa M, Yoshida M, Tsuda M and Tatano T: A new method for simultaneous autoanalysis of plasma levels of lactic acid and pyruvic acid by means of the oxidase system [Jpn]. J Anal Bio-Sci, 8: 16-24, 1985.

9. 原稿の長さは原則として下記の長さを限度とする。

(1) 原著、総説: 刷り上がり6頁以内。図と表は併せて6枚程度とする。

(2) 短報: 刷り上がり4頁以内。図と表は併せて3枚以内とする。

(3) 技術、資料: 刷り上がり6頁以内。図と表は併せて6枚以内とする。

規定以上の論文は、編集委員会で認めた場合に掲載することができる。この場合の超過分については実費を徴収する。

10. 投稿料・掲載料

(1) 会員からの投稿論文は、原著・技術・資料の刷り上がり 6 ページまで、短報は 4 ページまでを無料とし、これらを越えた場合は 1 ページにつき 10,000 円の掲載料を徴収する。

(2) 非会員からの投稿論文は、投稿料 20,000 円及び 1 ページにつき 15,000 円の掲載料を徴収する。

(3) 企業特集として依頼した企業からの投稿論文は、1ページにつき15,000円の掲載料を徴収する。

11. 論文印刷の際の初校は著者が行ない、再校以後は編集委員が行なうことを原則とする。採用した原稿は返却しない。

12. 別刷は実費配布とし、希望部数(最低30部)を著者校正の際指定用紙に記入する。

部数	30	50	100	200	300
金額(円)	10,500	17,500	33,250	63,000	89,250

別冊300部以上希望する場合は、投稿先へ問い合わせる。

13. 英文サマリーの審査料として、別に実費を徴収する。

14. 図表等のカラー印刷を希望する場合は別に実費を徴収する。

15. 投稿先は下記とする。

■原稿の送付先

E-mail 添付で送付(1送信につき5MB以下)

[jabs-jnl@umin.ac.jp](mailto:jabs-jnl@umin.ac.jp)

本誌に掲載された論文は Chemical Abstracts、医学中央雑誌に載録される。